

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：国際化推進費

事業名【新】岐阜県・江西省友好代表団派遣事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 観光国際局 国際交流課 国際交流係 電話番号：058-272-1111 (内3974)

E-mail：c11336@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 6,719 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	6,719	0	0	0	0	0	0	0	6,719
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

両県省は、1988年の友好提携締結以来、県、市町村、民間国際交流団体等と幅広い分野において友好交流事務を展開し、活発な交流が継続している。2023年は友好提携35周年記念という節目において、両県省の相互理解を深め、更に交流を発展させる。

(2) 事業内容

両県省政府による代表団の相互訪問は、友好提携35周年記念事業の中でも重要な事業と位置付けており、両県省の関係者による相互理解を深め、さらに交流を発展させる契機とする。

【岐阜県代表団の派遣】

本団<7名>

- ・内容：省幹部との面談、岐阜県紹介展、記念植樹、歓迎レセプション、など
- ・訪問者：知事、議長(議会事務局で予算対応)、観光国際局長、担当職員、など

事前調査団<4名>

- ・内容：省担当部局との打合せ、会場視察、など

【江西省代表団の受け入れ<10名>】

- ・内容：知事との面談、歓迎レセプション、記念事業(別途予算対応)、など

(3) 県負担・補助率の考え方

5年に一度、県と江西省が相互に訪問し、県紹介展等各種イベントや要人面談を行うことは、本県との協力体制の強化や更なる交流の発展に繋がるため、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	3,588	渡航費等
需用費	1,095	レセプション開催費、土産品代等
役員費	1,073	通信運搬費、通訳費
その他	963	使用料・賃借料(車借上料、会場・備品借上料)
合計	6,719	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

- ・福井県(浙江省)…30周年(2018年)に、友好代表団を派遣。
- ・富山県(遼寧省)…35周年(2019年)に、友好代表団を受入。
- ・香川県(陝西省)…25周年(2019年)に、友好代表団を派遣、大学生交流団を受入。
県内大学生との交流や記念植樹等を実施。
- ・和歌山県(山東省)…35周年(2019年)に友好代表団を受入、派遣。祝賀会等を実施。

(2) 後年度の財政負担

両県省の交流促進のため、今後も5年毎に負担する。

(3) 事業主体及びその妥当性

県と省との友好提携に基づくトップレベルでの交流であるため、県が事業主体であることについて妥当。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
両県省による相互理解を深め、更に交流を発展させる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						

○指標を設定することができない場合の理由

周年事業の直接的効果を定量的に評価できないため。

（前回の取組内容と成果）

○平成30年度事業の活動内容

<江西省人民政府代表団岐阜県訪問>

- ・期日：9月13日～15日
- ・江西省からの参加者：12名
- ・行事概要：紹介展オープニング式典、知事面談、県内視察など

<岐阜県代表団江西省訪問>

- ・期日：11月7日～9日
- ・岐阜県からの参加者：93名
- ・行事概要：紹介展オープニング式典、委員会書記との面談、記念植樹など

○平成30年度事業の成果

知事や関係市町村の首長をはじめ、多くの関係者が記念式典に参加し、友好交流のこれまでの成果を確認するとともに、両県省紹介展などを通じて、相互理解を深めた。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>中国との草の根レベルでの交流を推進するにあたっては、政府レベルでの信頼関係という基盤があつてこそ民間団体間の交流も円滑に進むと考えられるので、今後も県が関与することは妥当と考えられる。 また、周年の機会をとらえ、コロナ禍で停滞しかねない交流の機運を高める必要がある。</p>
<p>・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>江西省は、県にとって唯一の友好提携先であり、例年行われている実務レベルの相互訪問に加え、節目の年(5周年、10周年、20周年、25周年、30年 ※15周年は、新型肺炎SARS流行等のため中止)には、代表団の派遣・受入、紹介展をはじめとする記念事業等を行い、着実に交流が進んでいる。</p>
<p>・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</small></p>	
(評価) 1	<p>記念セレモニー等の実施にあたっては、OKBふれあい会館や清流文化プラザなど県施設の利用により、経費の節減を図る。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 民間団体と連携・協力し、最小限の財政支援で充実した民間交流を促進する。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 交流の基本である政府関係者の相互訪問に加え、政府間の交流を背景にした、観光交流、ビジネス交流、人材交流、民間交流を促進する。式典、文化事業などにおいて積極的に在住中国人・中国とゆかりのある方にも参加を促し、日中両国の草の根レベルでの相互理解を深める。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	